

通信の種類

1 文字によるもの

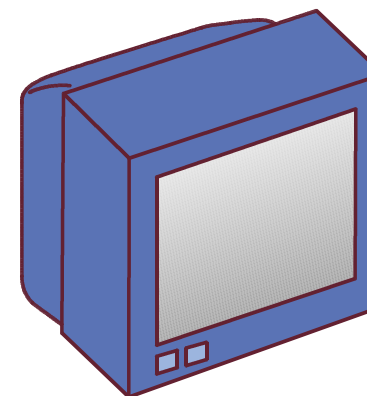
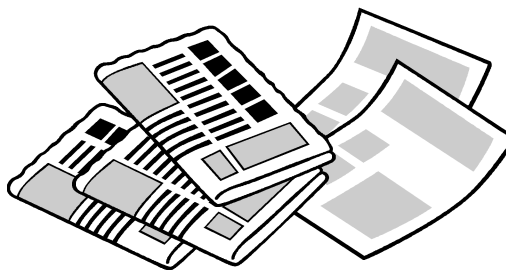
郵便(手紙など), 新聞, ざっし, 図書, 電報, ファクシミリ, テレックス, 伝言板

2 言葉によるもの

電話, ラジオ放送

3 映像によるもの

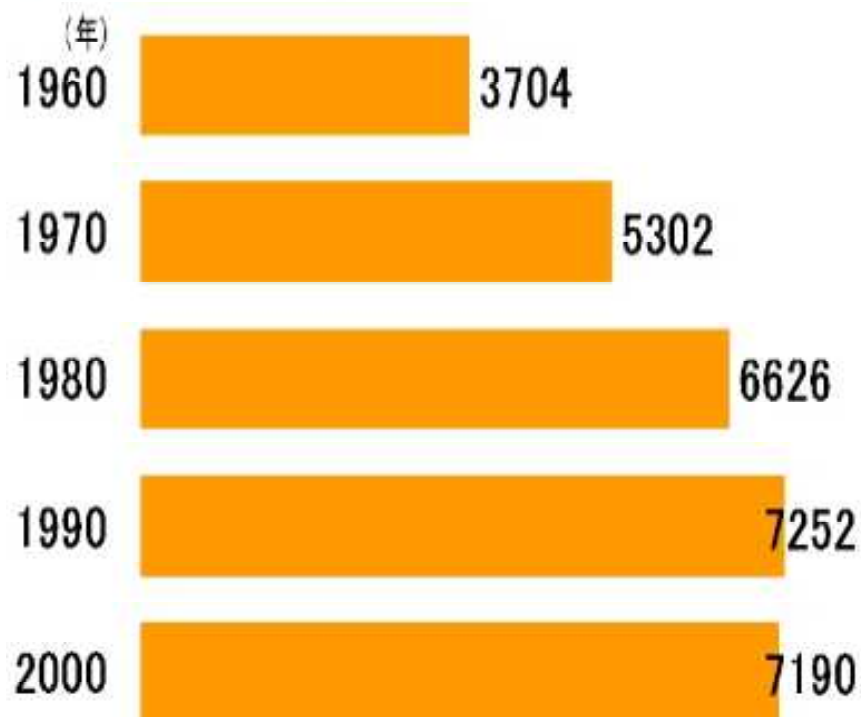
テレビ放送



※ けいたい電話のように, 上の1~3のどれか1つには, あてはめられないものもある。

新聞

◆日本の新聞の発行部数（単位…万部）



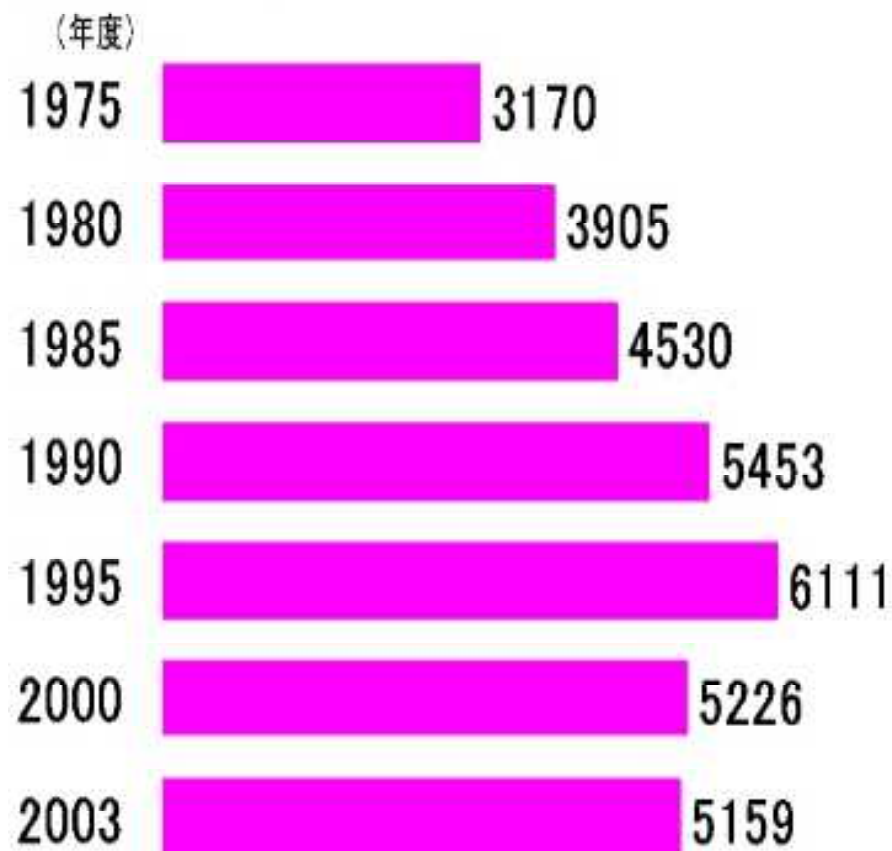
◆ 新聞の特ちょう

- 1 何回も何回も，くり返して読むことができる。
- 2 テレビやラジオのような速報性^{そくほうせい}はない。
- 3 いろいろな立場から分せき^{かいせつ}したり，解説したりできる。
- 4 全国紙以外に，地方だけで読まれている地方紙がある。

<朝・夕刊^{ゆうかん}を各1部とした1日あたりの部数> 一日本新聞協会調べ



◆電話の加入数 (単位…万)



そうむしやう
総務省調べ・加入電話のみ

◆電話の特ちょう

- 1 電話を使うと、早く^{かくじつ}確実に自分の意思を相手に伝えることができる。
- 2 日常生活の通信手段が、^{にちじやう}電報や^{しゅだん}郵便^{でんぽう}から電話へとうつった。
- 3 1987年9月から、NTT以外の会社も、電話のサービスを開始した。
また、けいたい電話が広まったので、
電話の加入数が少しへった。

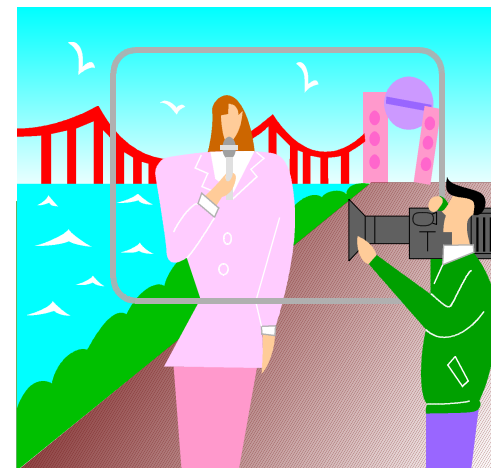
放送

◆ テレビ局の運営^{うんえい}

- 1 日本放送協会（NHK）
……国民からの放送受信料で
- 2 民間の放送局
……広告〔コマーシャル〕を放送して得る広告料で

◆ 最近のテレビの特ちょう

- 1 日本人のくらしの変化（生活の24時間化）
→ 24時間，テレビ放送される。
- 2 放送衛星^{えいせい}の打ち上げ
→ 衛星放送^{えいせい}の実施^{じっし}
- 3 さかんな報道番組^{ほうどう}
→ ニュースキャスターは番組の顔



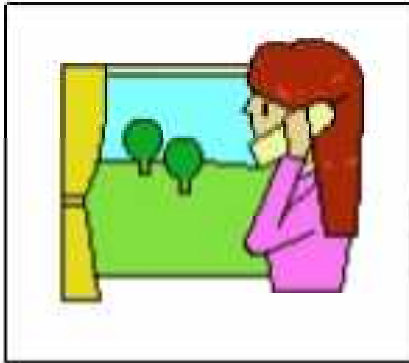
電話がつながるしくみ

- 家や学校・会社などにある電話は、ケーブルで電話会社とつながっていて、電話会社にある交かん機で、かけたい所につながる。
- 遠い所へかける電話は、いくつかの中けい所を通して無線で送られる。

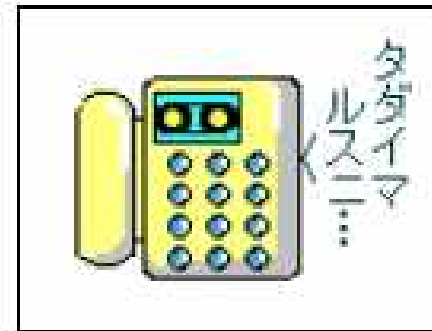


いろいろな電話機

1 コードレス電話



2 るすばん電話



3 けいたい電話



4 PHS電話



これからの電話機

◆ 新しい技術の発達

- 銅のケーブルから光ファイバーケーブルへ
 - 交かん機により高度なコンピュータを利用
- 電話を利用して、インターネットをしたり、動画やカメラでさつえいした画像、映像などを送ることが、日常的になる。
 - 電話を利用して、会社に行かずに仕事ができたり、学校に通わずに勉強ができたり、病院に行かずに治りようしてもらったり、商店に行かずに買いものをしたりすることが、日常的になる。
 - 電話とインターネットがさらにいっそう結びついて（IP電話）、より多くの情報をより早く送ることが可能になる。
 - テレビ電話が日常的になる。
 - 高度通信を可能にする、新しい多機能なけいたい電話が普及する。

新聞から得られる情報

- 1 日本では、新聞は1日に約7036万部が発行されている。(2004年)
- 2 新聞には、テレビとはちがうよさがある。
 - 何度もくり返して読むことができる。
 - 好きな記事や読みたい記事だけど、選んで読むことができる。
 - 空いた時間に、どんな場所でも読むことができる。



新聞の役わりと新聞社の仕事

1 新聞の役わり

ニュースを伝えるだけではなく、**社説**や**解説**^{かいせつ}をのせて、読者に**考える手がかり**^{ていきよう}を提供する。

2 新聞社の仕事

- ① **情報**^{じようほう}を世界中から集める。
支局^{しきよく}，**特派員**^{とくはいん}の**設置**^{せつち}，**テレックス**の利用
- ② 記事を，**正確**^{せいかく}に，わかりやすくつくる。
- ③ コンピュータや高速輪転機などを使って，早くつくる。
- ④ カラー印刷などで，見やすい紙面づくりをする。

新聞が読者のもとにとどくまで

1 取材

- ・ 事故などの現場取材して、記事を編集局へ送る。

2 編集と制作

- ・ 記事を整理して、すべて電気信号にかえる。
- ・ 記事を大型コンピュータに入力する。
- ・ 見出しや写真などを組み合わせて紙面づくりをする。
- ・ 新聞と同じ大きさのネガフィルムをつくる。
- ・ ネガフィルムから刷板をつくる。

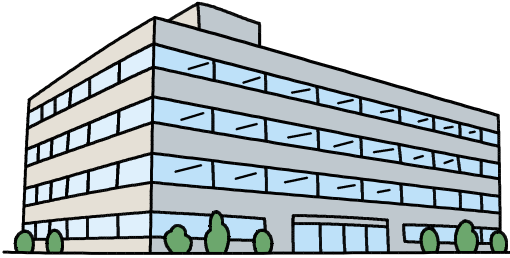
3 印刷

- ・ 高速輪転機で印刷する。（1時間におよそ14万部）

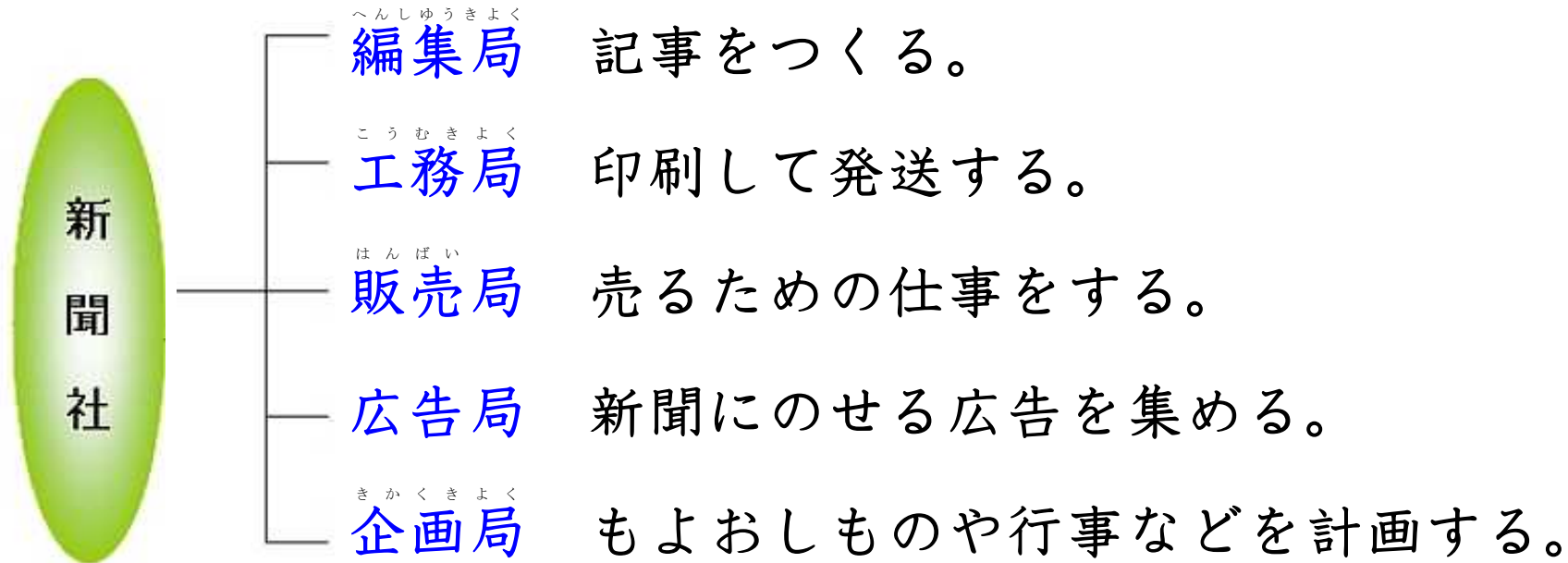
4 発送と配達

- ・ 自動発送装置で荷づくりをし、各地の新聞販売店へ発送し、販売店から、各家庭に配達される。

新聞社



（ 外報部^{がいほうぶ}，通信部^{つうしんぶ}，運動部^{うんどうぶ}，写真部^{しやしんぶ}，
経済部^{けいざいぶ}，社会部^{しゃかいぶ}，政治部^{せいじぶ}，
学芸部^{がくげいぶ}，整理部^{せいりぶ}など ）



テレビ放送



1 放送局の仕事

- さまざまな番組を通して情報^{じょうほう}を伝える。
- 多くの人たちが番組づくりにたずさわっている。
アナウンサー，ディレクター，カメラマンなど

2 日本では，1953(昭和28年)に，テレビの正式放送が始まった。

3 日本の放送局

- NHK（日本放送協会）
→国民からの放送受信料^{うんえい}で運営されている。
- 民間放送局
→広告料^{うんえい}で運営されている。



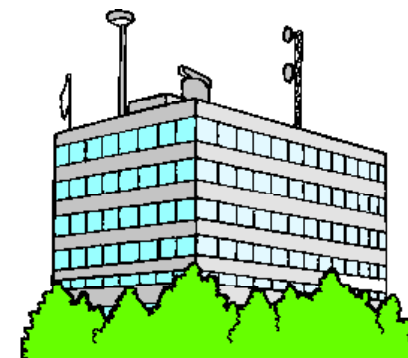
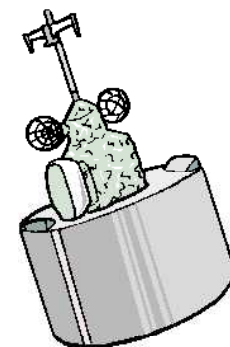
放送される気象情報

1 役わり

- 自然を相手にする農業や水産業にたずさわっている人々には，とくに大切な情報である。
- 日常生活の中でも，参考に使っている人が多い。

2 放送

- 一日に何回も，とくに朝はくり返し放送される。
- コンピュータを活用して，画面をわかりやすくしている。
- 気象庁が気象データを集めて，放送局に送っている。
- 気象衛星がとらえた映像が，気象衛星センターから，放送局に送られてくる。



ニュース番組

1 できるまで

- ① 打ち合わせを聞いて、何をとりにあげるかを決める。
- ② 取材をする。
- ③ 取材をもとにして、番組の内容を決める。
- ④ 取材してきた内容を編集する。
- ⑤ ニュースセンターから放送する。

2 くふう

- ・ 記者は直接現場に行き、正確な情報を取材する。
- ・ 高性能カメラなどの新しい技術を取り入れて、見やすくわかりやすい画面づくりをする。

テレビ放送のおゆみ

年	できごと
1926 (大正15)	・ 浜松高等学校で、テレビの画面に「イ」の字をうつす実験に成功する。
1953 (昭和28)	・ NHKが、初めてテレビの正式放送を始める。
1960 (昭和35)	・ カラーテレビの放送が始まる。 ・ このころからテレビが急速にふきゅうし始める。
1963 (昭和38)	・ 人工衛星で、アメリカ合衆国との間で衛星中継を行う。
1969 (昭和44)	・ アポロ11号の月着陸のようすが放送される。
1980 (昭和55)	・ カラーテレビのふきゅう率が98%をこえる。
1987 (昭和62)	・ 衛星放送が始まり、質のよい電波による放送を行う。

★NHKは、国民からの放送受信料で運営されている。